筑波技術大学
産学官連携
シーズ

ユニバーサルデザインの臨床評価支援アプリ「CAST」シリーズの開発

保健科学部保健学科鍼灸学専攻・講師	福島 正也

キーワード

ユニバーサルデザイン、視覚障がい、鍼灸マッサージ、ICT、アプリ開発

研究概要

近年、「根拠に基づく医療(Evidence-Based Medicine; EBM)」の広がりにより、医療・介護領域における客観的評価の重要性が増しています。それは伝統医療である鍼灸やマッサージでも同様で、アウトカム(治療や介入の成果)を客観的に評価した治療を提供することが求められています。しかし、残念ながら、他の医療分野に比べ、伝統医療ではデータの蓄積やICT化が大きく遅れている現状があります。

鍼灸あん摩マッサージ指圧は、日本では江戸時代から視覚障がい者の職業として、広く社会に認知され、人々のヘルスケアに活用されてきました。一方で、視覚障がいがある施術者には、障がいに起因する困難が存在しているのも事実です。特に、視覚を用いる客観的評価やその記録・読み取りで、困難を抱えている現状が明らかになっています(福島;2022)。

そこで、我々は視覚障がいの有無に関わらず、臨床の場で活用できるユニバーサルデザインの評価支援アプリ「CAST (Clinical Assessment Support Tools)」シリーズを開発しています。これまでに、質問紙・評価票をタブレット化した「CAST-Q (Questionnaire)」、スマホで関節可動域を測定できる「CAST-R (Range of motion)」を開発し、今後もシリーズ展開を進めていく予定です。

CASTウェブサイト： https://sites.google.com/g.tsukuba-tech.ac.jp/cast/casttop

応用例・用途

視覚障がいのあるユーザのアクセシビリティを保障したアプリは、高齢者を含む全ての人に見やすく使いやすいユニバーサルデザインアプリへとつながっています。

また、これまでは経験的に評価されてきた臨床上の所見も、ICTの活用により、より簡便かつ低コストでデータ化できる可能性があると考えています。

国立大学法人 筑波技術大学　学術・研究委員会
【問い合わせ先】
〒305-8520　茨城県つくば市天久保4-3-15　総務課　学術・社会貢献係
TEL：029-858-9339　FAX：029-858-9312　E-MAIL：kenkyo@ad.tsukuba-tech.ac.jp